

人間は 出来ない. 忘れる ように創られている

このお地蔵さんだよりを読んで頂いている方々から「時々書いてあるよいお話を読んで、そのようにしようと思うけどなかなか出来ないし、忘れてしまう」と何度も聞いたことがあります。

みなさまもご経験あることでしょう。よいセミナーや研修を受けて「明日からどうしよう!」と決意するも出来ずに... そのうち忘れてしまうということ。

もちろん私もその一人で、この筆者でありながら書いていることも出来ず、書いたことすら忘れてしまう(※)というあり様です。

どうやらこれは人間というものは「出来ない. 忘れる. ようにプログラミング」されているということのようです。何故なら

全員がよいお話を聞いてすぐに出来てしまうと人生が面白くなくなり、そして休業の場にならないからでしょう。

出来ないから困ったり、人に助けられたり、喜べたりできる。だから出来ないこと忘れることに自分を責めなくていいのです。

さあ今日も忘れるための自己啓発の本を読みましょう!(笑)

お地蔵さんだより

Vol. 144
2016年9月

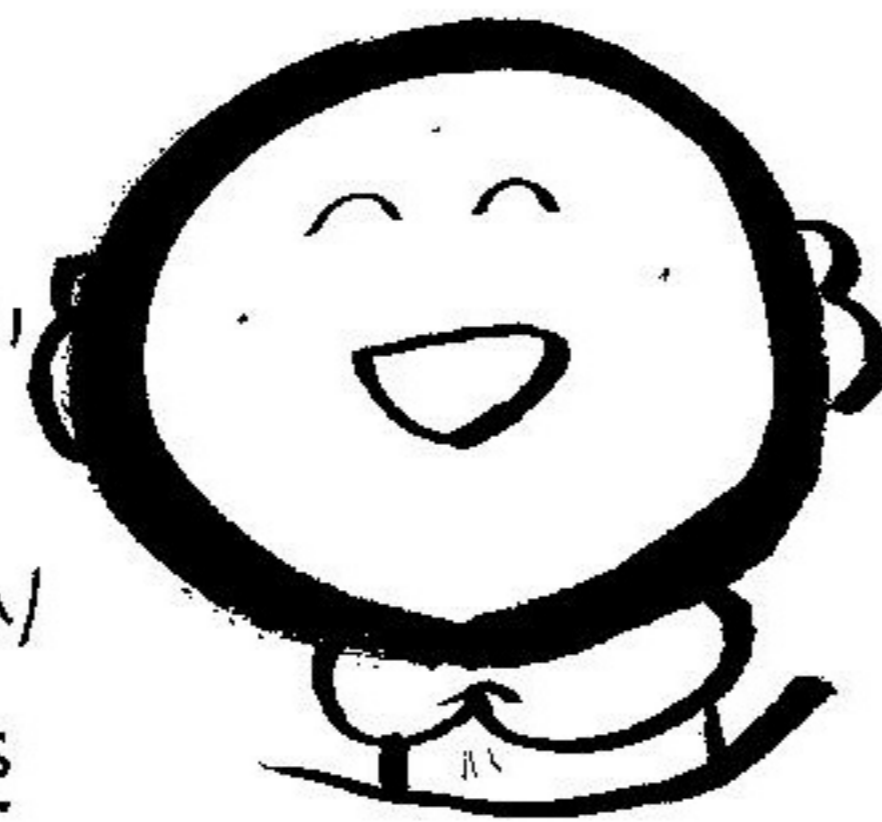
作者: 鳥越介順

いつも
お読みいただき
ありがとうございます。



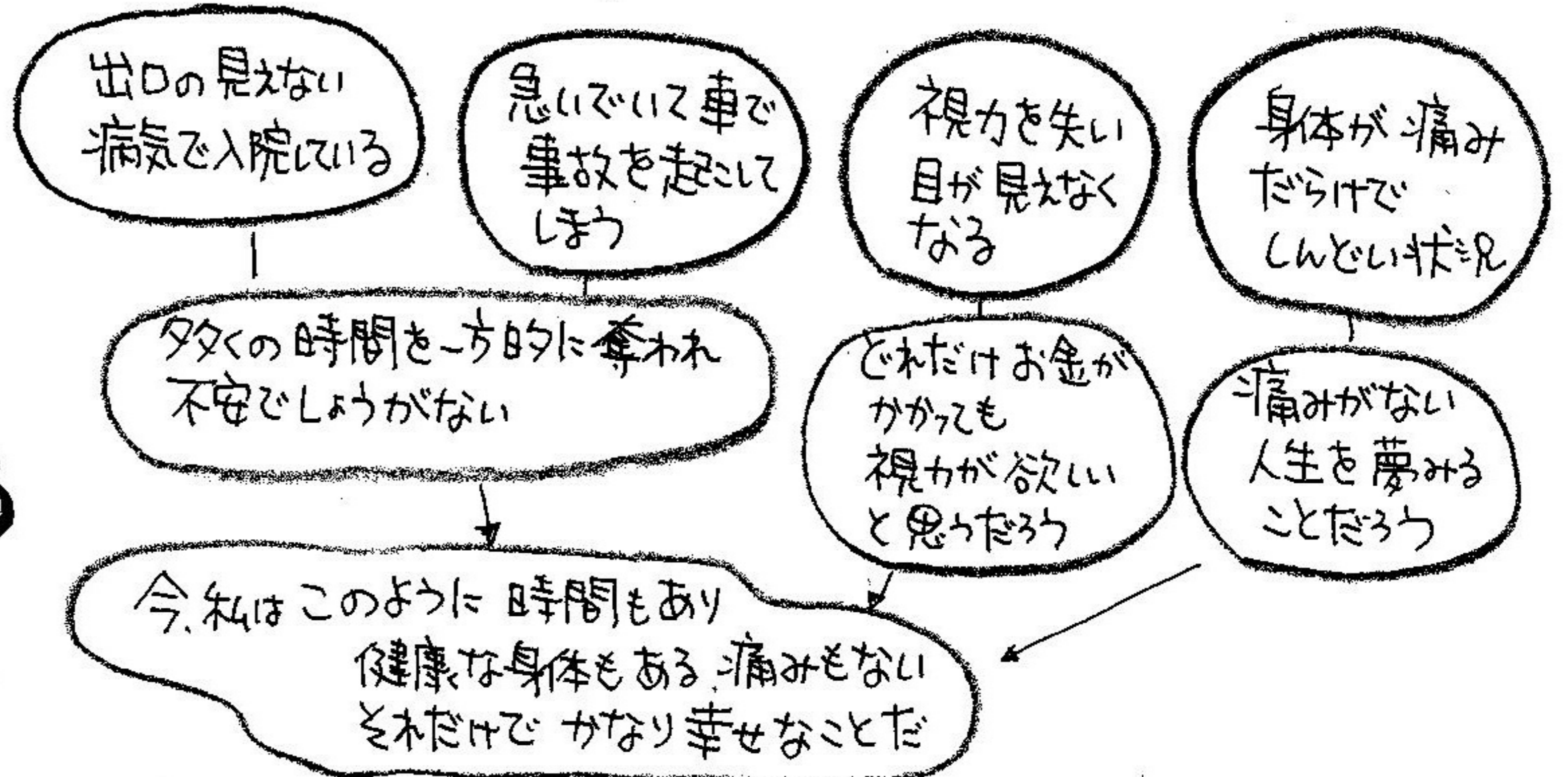
毎いっしょに保険を選びましょうオフィス鳥越

今日も
大切に



夢は単々と

友人に「夢とかある?」と聞かれたときに「単々と生きることかな」と答え、自分でもハッとした。確かに事業を拡大したいとかこうなりたいという夢は持っておらず、ただ日々を今に感謝して単々と生きていけると素敵だと思います。実際は「単々と生きる」ことはなかなか難しく、人間なので必ず目の前に起こる数々の状況に心を揺さぶられ、不安になったりするものです。そこで私が最近よくやるトレーニングをご紹介します。このようなネガティブなイメージをあるのですが....



どうなんです。悪いイメージをすることで心の振れ幅を大きくしておくトレーニングなんです。

今日も単々と生きていこうと思います。♡